

# ほなみ通信

第100号 記念号

2023年12月7日

社会福祉法人

坂井輪会

発行元 〒950-2035 新潟県新潟市西区新通4734 TEL 025-269-1600 FAX 025-269-1571

折り紙の  
楽しさ  
再認識!?



みんなで食べる昼食!  
最高です!



“体しゃっきり体操”で  
健康 介護予防



カードゲームで脳トレ



## みちばカフェオープン

新しい地域の居場所として、道場山穂波の里4階に、8月より「みちばカフェ」をオープンしました。従来の地域の居場所「たんぼ広場」、介護予防体操「たんぼ拳」、そして介護家族の集い「集まろう会」を一体化させた、体操あり、おしゃべりあり、趣味の活動あり、そして何より美味しいコーヒーと栄養バランスが考慮された昼食ありの集まりです。

体操は新潟市が考案した高齢者のための介護予防体操「体しゃっきり体操」のDVDを中心に、映像を見ながら行います。

体操終了後は自由時間で、おしゃべりや折り紙、カードゲームなど好きなことをやって過ごされています。

そして何よりの楽しみは昼食です。料理のプロが作った味は文句なしに美味しいですが、一週間のうちのたった一食ではないのですが、特に一人暮らしの方は食生活が充実したと喜んでくださっています。また、コロナ禍で食卓を囲んで一緒に食事をすることが制限されていましたから、なおやらのように、みんなで食べる昼食は最高です！

配膳や血洗いなどは当番制で、可能な限り何らかの役割を果たしてもらっております。これまでのようなボランティアと参加者のはっきりとした線引きがなく、できることをできる人が行い、誰をも受け入れられる、そんな居場所を目指しています。





思い返せば…

平成6年穂波の里開設に伴い入職して1年が経過しようとしていた時期に、当時の法人事務局長に法人広報紙を発行したい、広報委員会の責任者を務めてほしい旨、要請がありました。以前の職場で、機関紙の編集に携わっていた経験が少しばかりありましたので、二つ返事で引き受けた覚えがあります。

名称については、先輩施設の広報紙を参考にしながら、最終候補に挙がったのが「穂波だより」と「穂波通信」でした。「〇〇だより」が多い中で落ち着いたのが「ほなみ通信」でした。発行回数も月間では荷が重く季刊発行としました。発行の目的は、入居者や在宅サービスのご利用者の様子をお知らせすることや法人の取り組み事業を紹介することを主としました。

現在は、原稿を依頼する側から依頼される側に回りましたが、地域の皆様との懸け橋となる広報紙として、今後皆様のご支援をお願い申し上げます。

(初代広報委員長・法人理事長 細貝)

ほなみ通信 1994.1.25 第5号 特別編集老人ホーム 穂波の里

初春—弥彦神社にて

発行所 特別編集老人ホーム 穂波の里

1994.1.25 第5号

特別編集老人ホーム 穂波の里

「ほなみ通信」創刊にあたって

発行所 特別編集老人ホーム 穂波の里

1994.1.25 第5号

特別編集老人ホーム 穂波の里

ほなみ通信 1994.1.29 第2号 特別編集老人ホーム 穂波の里

日帰り旅行 NEXT21での記念撮影!!

発行所 特別編集老人ホーム 穂波の里

1994.1.29 第2号

特別編集老人ホーム 穂波の里

文化の進進地

発行所 特別編集老人ホーム 穂波の里

1994.1.29 第2号

特別編集老人ホーム 穂波の里

ほなみ通信 1994.4.29 創刊号 特別編集老人ホーム 穂波の里

「ほなみ通信」創刊にあたって

発行所 特別編集老人ホーム 穂波の里

1994.4.29 創刊号

特別編集老人ホーム 穂波の里

ほなみ通信 1995.7.28 第13号 特別編集老人ホーム 穂波の里

たんぼ小窪館策中に職員とともに一枚

発行所 特別編集老人ホーム 穂波の里

1995.7.28 第13号

特別編集老人ホーム 穂波の里

ほなみ通信 1997.5.5 第8号 特別編集老人ホーム 穂波の里

寺尾中央公園でデイサービスのみなさんの花見会

発行所 特別編集老人ホーム 穂波の里

1997.5.5 第8号

特別編集老人ホーム 穂波の里

ほなみ通信 1998.8.24 第6号 特別編集老人ホーム 穂波の里

祭りだワッショイ 納涼祭96

発行所 特別編集老人ホーム 穂波の里

1998.8.24 第6号

特別編集老人ホーム 穂波の里



## ほなみ通信18選

ほなみ通信は入居者、利用者の日常の様子や地域での取り組み、介護保険制度の紹介や改定による影響等を取りあげてきました。全ての号を紹介すると膨大な量になるため、今回2, 4, 5ページに掲載したほなみ通信を簡単にご紹介します。

号数	発行日	表紙の写真	寄稿者 ※敬称略	法人の主な出来事
創刊号	1995年4月30日	日向ぼっこ (特養穂波の里)	「ほなみ通信」創刊にあたって 理事長 坪谷 誠、園長 上杉あさ子	4月1日穂波の里創立1周年
第2号	1995年7月20日	日帰り旅行 NEXT21での記念撮影!! (特養穂波の里)	文化の発進地に 理事 吉田 三男	
第5号	1996年5月25日	初春-弥彦神社にて (特養穂波の里)	車椅子遊歩道の開通式 理事 赤塚 勢隆	4月27日穂波の里車椅子遊歩道開通式
第6号	1996年9月25日	祭りだワッショイ 納涼祭96 (特養穂波の里)	新しい福祉の時代の鼓動 理事 木戸 利秋	
第8号	1997年5月5日	寺尾中央公園でデイサービスのみなさんの花見会	「地域の立場から」 理事 小池マサイ	
第13号	1998年7月20日	たんぼぼ小径散策中に職員とともに一枚 (特養穂波の里)	「地元にとけこみ地域の核の施設として」 新通自治会長 小林 正幸	
第16号	1999年9月18日	納涼祭、暑さもなんのその、皆で輪になって踊りました! (特養穂波の里)	「ボランティアほなみ」の会員として 理事 阿部 文子	
第18号	2001年2月16日	新年会、今年は羽根つきもしました。(特養穂波の里)	ケアハウスの地鎮祭 理事 福島 富	
第20号	2001年12月16日	グループホーム穂波の里開設、よろしくお願ひします (右側の建物です)	ケアハウス、グループホームの誕生で体験した事 ケアハウス施設長 本多 稔	11月1日ケアハウス穂波の里、グループホーム穂波の里開設
第23号	2002年10月27日	敬老会・ご長寿おめでとうございます。(特養穂波の里)	穂波の里の秋に 評議員 中村 勝彦	
第26号	2003年12月26日	ミニ運動会。まずは準備体操。(特養穂波の里)	送迎がボランティア 評議員 結城 照男	
第33号	2006年2月17日	シンポジウム開催4年目を迎える	安心して住み続けられる条件づくり 「生活援助・介護予防を通じた地域づくり」をテーマに	
第34号	2006年6月7日	穂波大学の卒業式	地域包括支援センター開設 センター長 井上 悦子	4月1日新潟市地域包括支援センター坂井輪開設
第45号	2009年2月28日	ボランティア新年会	自分の楽しみボランティア活動 ボランティア穂波の会 会長 赤塚 美智	
第53号	2011年2月18日	2月1日道場山穂波の里オープン	道場山穂波の里施設長挨拶 施設長 皆川 直史	2月1日地域密着型特別養護老人ホーム道場山穂波の里、認知症対応型デイサービスセンター道場山穂波の里開設
第76号	2016年12月8日	あちらでもこちらでも会話がはずむ さかいわ健康まつり		
第79号	2017年9月7日	地域の方と共に歩んだ10年間 つながりの回復介護予防 めざして 法人自主事業たんぼぼ広場寺尾上		
第91号	2020年11月16日	日常をとりもどす新たな取り組み オンライン面会・オンライン研修 (特養道場山穂波の里)		

ほなみ通信は多くの方々に支えられ100号を迎えることができました。感謝申し上げます。





創刊号からの委員として

平成7年3月頃、当時特養の介護職員だった私は、施設長から広報委員への就任要請を受けました。そして平成10年5月にデイサービスの生活相談員として異動した際、広報委員長と編集責任者になりました。委員長をしていた時期（平成11年～16年度）は旧措置制度から公的介護保険制度へ移行した過渡期で、私自身多忙？とはいえ、年4回発行を一度も達成できず平成17年4月現委員長に交代となりました。その後転々と異動し業務内容は変わったものの、広報委員とほなみ通信の編集は現在も続いています。

ほなみ通信を創刊号から振り返ってみますと、ページ色紙のモノクロ印刷からカラーページになり、写真を増やす等ほなみ通信の体裁は変わりましたが、入居者等の日常の様子、介護現場の援助実践や思い、介護保険制度の紹介等、高齢者福祉の現状を現場目線で伝えていきたいという姿勢は変わらず99号まで続けてこられたかと思えます。今後現場からの声を掲載していきたいと思えます。

(二代目)広報委員長・総務 武田

ほなみ通信 2001・12・16 第20号 特別養老老人ホーム 穂波の里

グループホーム開設、よろしくお願ひします  
(名刺の裏面です)

ケアハウス「ほなみ」の開設が近づきました  
ケアハウス「ほなみ」の開設が近づきました。この間、施設長や職員、入居者等と話し合い、施設のあり方を検討してきました。この間、施設長や職員、入居者等と話し合い、施設のあり方を検討してきました。

ほなみ通信 2001・2・18 第18号 特別養老老人ホーム 穂波の里

新年会、今年は羽根つきもしました。

ケアハウスの地盤調整  
施設長 藤田 隆

ほなみ通信 2001・9・18 第16号 特別養老老人ホーム 穂波の里

納涼祭、暑さもなんのその、皆で輪になって踊りました!

おんチヤイほなみの会  
阿部 文子

ほなみ通信 第33号 2004年2月17日 特別養老老人ホーム 穂波の里

ほなみ通信 2004年2月17日 特別養老老人ホーム 穂波の里

花を眺めて、ホッピーを  
おんチヤイほなみの会  
おんチヤイほなみの会

ほなみ通信 2003・12・26 第26号 特別養老老人ホーム 穂波の里

ミニ運動会、まずは準備体操。

進捗が早いな  
藤田 隆

ほなみ通信 2002・10・27 第23号 特別養老老人ホーム 穂波の里

敬老会、ご長寿おめでとうございます。

穂波の里の秋に  
伊藤 中村 勝彦



ほなみ通信 100号  
記念号発行に寄せて③

分かりやすく伝える

ほなみ通信の創刊は、穂波の里創立の翌年、平成7年4月にさかのぼります。今号で100号を迎えることになり、広報委員として長く広報紙にかかわってきた私としても感慨深いものがあります。前任者から引き継ぎ平成17年に3代目の広報委員長となり、現在に至ります。年4回発行を自らの役割とノルマを課し、目標としてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年よりやむを得ず年3回の発行に変更しています。

編集作業において一番気をつけていることは、読者の皆様に、社会福祉法人坂井輪会の取り組みをいかに分かりやすく伝えられるかです。専門的な知識や能力があるわけでもない私ができることは、読者と同じ目線に立って読んだ時に分かりやすい内容になっているか、それに尽きます。課題も多くありますが、今後は次世代の職員に引き継ぎ、新しい紙面作りを期待したいと思っています。

(現広報委員長・包括坂井輪 梁取)

第53号  
2017年2月16日  
社会福祉法人 坂井輪会

ほなみ通信

2月1日  
道場山穂波の里  
オープン

この号は、道場山穂波の里のオープンにちなんで、施設の様子や、入居者の生活の様子、ボランティア活動の様子などを紹介しています。

施設長 梁取 隆夫

第45号  
2009年2月26日  
社会福祉法人 坂井輪会

ほなみ通信

総波音楽祭  
ボランティア新年会  
ボランティア新年会

自分たちの活動  
ボランティア活動

自分たちの活動、ボランティア活動、施設の様子、入居者の生活の様子、ボランティア活動の様子などを紹介しています。

施設長 梁取 隆夫

第34号  
2010年4月7日  
社会福祉法人坂井輪会  
穂波の里

ほなみ通信

穂波大学の卒業式、入居者の結婚で、皆勤賞で表彰されました。おめでとうございます。

地域包括支援センター開設

施設長 梁取 隆夫

第91号  
2020年11月16日  
社会福祉法人 坂井輪会

ほなみ通信

オンライン面会  
日常生活を取りもどす  
新たな取り組み  
オンライン研修

この号は、オンライン面会、日常生活を取りもどすための取り組み、新たな取り組み、オンライン研修の様子などを紹介しています。

施設長 梁取 隆夫

第79号  
2017年9月7日  
社会福祉法人 坂井輪会

ほなみ通信

地域の方と  
共に歩んだ  
10年間  
つながりの回復  
介護予防めざして  
法人自主事業  
たんぼぼ広場寺尾上

この号は、地域の方と歩んだ10年間の活動、つながりの回復、介護予防めざしての法人自主事業、たんぼぼ広場寺尾上の様子などを紹介しています。

施設長 梁取 隆夫

第76号  
2016年12月6日  
社会福祉法人 坂井輪会

ほなみ通信

H28.10.30  
介護の相談  
あちらでも  
こちらでも... 会話がはずむ  
さがいわ健康まつり

この号は、H28.10.30の介護の相談、あちらでもこちらでも... 会話がはずむ、さがいわ健康まつりの様子などを紹介しています。

施設長 梁取 隆夫



特養 穂波の里

敬老会

# 祝百寿

今年はお二人の方が  
百歳を迎えました



同じく賞状・記念品をいただきましたが写真がなくて申し訳ありません



特養 道場山穂波の里

お重で敬老をお祝い



ショートステイ 穂波の里

職員有志による  
ギター演奏会  
“ふるさと” “富士山”  
“上を向いて歩こう”等  
昔の歌を演奏しました



ケアハウス穂波の里



祝ケアハウス穂波の里  
開設22周年



寿司バイキングで開設祝い